

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	74 -	事業名	道路新設事業	担当部課	建設部土木課
------	------	-----	--------	------	--------

基本情報	総合計画	基本方針	2	リニモでにぎわい交流するまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	3	安全で快適な道路を整える	款	7	土木費
		施策の進め方	3	道路交通の安全確保・円滑化	項	2	道路橋梁費
	まちづくり 行程表	フラッグ	-		目	2	道路新設改良費
		政策分類	-		大事業	2	道路新設事業
	その他(関係法令、要綱等)		道路法・道路構造令				
事業開始の背景、経緯等		今度増大する自動車交通需要により、将来的にはより深刻な交通渋滞混雑が懸念されている					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 交通渋滞混雑解消を図るため都市幹線道路網を計画的に整備し、安全で円滑な交通網を整えとともに、歩行者、自転車車が安全に通行できるよう、通行環境を確保し交通安全の向上を図る。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市の管理する道路					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 道路利用者の安全で円滑・快適な通行を確保する					
	事業を構成する事務事業	① 道路新設事業・市単独事業	現状維持	④			
	② 道路新設事業・県費補助事業	現状維持	⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		-	15,653	77,000
決算					-	20,250	55,013	
人件費(B)	千円	決算		-	3,404	4,395		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		-	23,654	59,408		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 設計延長	km	目標		-	1.8	2.1	1.9
			実績		-	1.8	2.1	
	B 工事延長	m	目標		-	-	39	62
			実績		-	-	39	
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 事業を実施する路線や内容が年度毎に違うため比較は困難であるが、事業成果として設定した。								
B 工事進捗を示す基準として、工事延長を設定した。								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣市町村のほとんどが実施している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標に対して数値は達成している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 事業を進めるには、多額の事業費と日数を要する

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 早期に事業効果が発生できる計画的な予算配分が必要
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 道路の利用ニーズを把握し、その時点で必要な道路網が構築できるよう、整備を進めていく。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

					事業名	道路新設事業								
番号	①	事務事業名	道路新設事業・市単独事業		款	7	項	2	目	2	大事業	2	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成28年度			終了（予定）年度	—							

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 今後も自動車交通需要が増大が見込まれる路線等について、道路新設計画を検討し安全で円滑な道路網を整える。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 安全で円滑な、道路網を整備する

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算	—	—	15,653	37,000	69,311
		決算	—	—	20,250	37,217	—
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
①		浮江隅田2号線外測量設計委託				33,048	千円
②		瀬戸大府東海線公共補償用地				3,887	千円
③		瀬戸大府東海線分筆委託				280	千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
設計延長	km	目標	—	—	1.8	2.1	1.9
		実績	—	—	1.8	2.1	—
		目標					
		実績					
＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞ 浮江隅田2号線外測量設計業務委託 詳細設計 1.2km、予備設計 0.9km (同一路線の設計を継続的に行っていないため、各年度間を比較するための指標を設定することが困難である。)							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

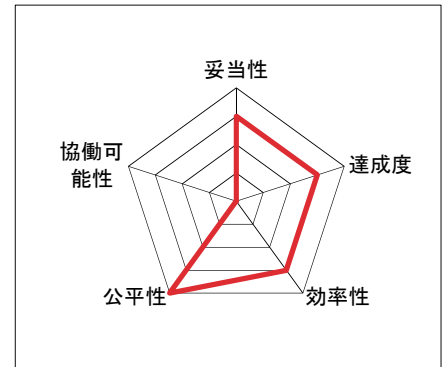
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)  事業費に用地費、工事費等も含まれているため、今後の事業費の推移に大きな変動が生じる。
--

## 5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞  ※新規行政評価対象  (何をどのような状態に改善したのか)  —
--

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	4
協働可能性	—



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)  特になし
---------------------------------------

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)  特になし
--------------------------------------

## 7. 今後の方向性

**現状維持**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)  H28については、繰越事業があったため、決算額が大きくなっている。
---

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		道路新設事業									
番号	②	事務事業名	道路新設事業・県費補助事業	款	7	項	2	目	2	大事業	2	中事業	3
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成29年度		終了（予定）年度		平成31年度						

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 県道岩作諸輪線の連続していない歩道において、歩道の設置を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 県道岩作諸輪線の連続していない箇所の歩道を整備し、歩行者の交通安全の向上を図る。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算 決算	— —	— —	0 0	40,000 17,796	57,002
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 岩作中根地内外新設歩道設置工事						17,796	千円
②							千円
③							千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
工事延長	m	目標	—	—	—	39	62
		実績	—	—	—	39	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
工事延長39m 土留・仮締切り工 一式							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

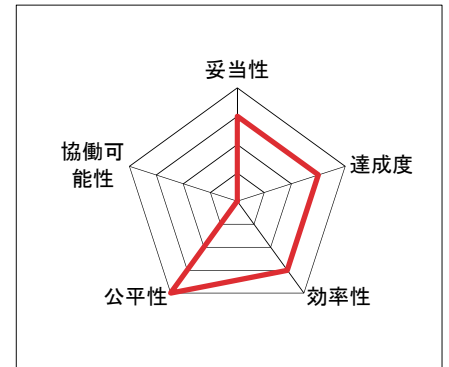
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他市町も県費や国費を活用し道路整備を進めている
---

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント> ※新規行政評価対象
(何をどのような状態に改善したのか) —

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	4
協働可能性	—



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど) 特になし
-----------------------------------

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど) 特になし
----------------------------------

## 7. 今後の方向性

現状維持

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 関係機関協議の進捗により、施工予定内容に変更があり、予算額と決算額に差異が生じた。
---